

福島沖での浮体式洋上風力発電システムの実証研究 事業委託費 平成30年度予算額 20.6億円（24.0億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 東日本大震災からの福島県浜通りの地域経済の復興のため、国・県・地元市町村は一体となって「福島イノベーション・コースト構想」の実現を目指しています。この構想の中で、新たなエネルギー関連産業の創出として、福島沖の浮体式洋上風力発電の実証研究とその事業化による風力発電関連産業の集積が期待されているところです。
- 本事業では、世界最大の7MW浮体式風車をはじめ3基の風車と浮体式洋上変電所（サブステーション）を順次設置し、すべての風車による実証を開始しています。世界初の複数基による浮体式洋上風力発電システムの本格的な実証を行うことにより、安全性・信頼性・経済性を明らかにします。

成果目標

- 平成28年度から平成30年度までの3年間の事業であり、福島沖において、実証機の設備利用率35%以上を達成し、県や民間主導による本格的な浮体式洋上ウインドファーム（複数基による風力発電所）を実現することを旨すとともに、新産業の創出に貢献します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

福島沖での浮体式洋上風力発電システムの実証研究事業

平成25年度～稼働中	洋上サブステーション搭載 アドバンススーパー浮体 「ふくしま絆」	平成25年度～稼働中	2MWダウンウインド風車搭載 コンパクトセミサブ浮体 「ふくしま未来」
平成27年度～稼働中	7MW油圧風車搭載 V字型セミサブ浮体 「ふくしま新風」	平成28年度～稼働中	5MWダウンウインド風車搭載 アドバンススーパー浮体 「ふくしま浜風」

(提供：福島洋上風力コンソーシアム)

- 運転中のデータ取得・評価
- 維持管理手法の確立
- 漁業との共存 等

安全性・信頼性・経済性の検証

福島県・民間の取り組み

